

平成18年度 財団法人大竹財団事業報告書

自 平成18年4月 1日
至 平成19年3月31日

1. 理事会並びに評議員会

- 18年 5月26日 定例第1回理事会並びに評議員会開催
平成17年度事業報告、収支決算報告及び平成18年度事業計画案、予算案承認の件についての審議、可決。
- 18年 11月10日 定例第2回理事会並びに評議員会開催
平成18年度中間事業報告、中間収支決算報告の件についての審議、可決。

2. 講演会・研究会

国内外の社会的諸問題について、先駆的な研究者や問題解決に取り組むNGOの活動家を講師として招聘し、講演会10回と上映会1回を開催しました。分野別ではエネルギー問題(4回)、環境問題(2回)、平和問題(2回)、人口問題(1回)、人権問題(1回)、その他(1回)。

平成18年度は新たな取り組みとして、全11回のうち6回を他団体と共催。とくに5月に開催した上映会「六ヶ所村ラブソディー」においては20の市民団体と共催し、チケット販売や広報などで多くの協力を得ることができ、多くの来場者を迎えることができた。

- 18年 4月15日 講演会「チェルノブイリ事故から20年 日本の原子力は？
エネルギー政策の失態を問う」
講師： 小林圭二氏(元京都大学原子炉実験所講師)
共催： 市民エネルギー研究所
会場： 総評会館
(参加者数 40名)

- 5月19日 上映会「六ヶ所村ラブソディー」
講師： 鎌仲ひとみ氏(映画監督)
共催： 劣化ウラン兵器禁止・市民ネットワークほか19団体
会場： 東京ウィメンズプラザ
(チケット販売数 456枚)

- 6月22日 講演会「チェルノブイリ原発事故から20年
チェルノブイリはまだ終わらない」
講師： 神谷さだ子氏（日本チェルノブイリ連帯基金事務局長）
本橋成一氏（写真家、映画監督）
共催： 日本チェルノブイリ連帯基金
会場： 環境パートナーシップオフィスEPO
（参加者数 31名）
- 7月 1日 講演会「シマに暮らす思想～琉球の島めぐりで考えたこと」
講師： 野本三吉氏（沖縄大学教授）
共催： 賑栄塾
会場： 早稲田奉仕園
（参加者数 85名）
- 9月 9日 講演会「平和をつくる、平和を維持するNGOの試みと
チャレンジ」
講師： 佐藤真紀氏
（日本イラク医療支援ネットワーク事務局長）
大橋祐治氏（非暴力平和隊・日本理事）
大畑豊氏（非暴力平和隊・日本共同代表）
共催： 日本イラク医療支援ネットワーク、非暴力平和隊・日本
会場： 早稲田奉仕園
（参加者数 17名）
- 9月28日 講演会「人口問題の新潮流～転換期の人口をどう捉えるか」
講師： 佐々井司氏（国立社会保障・人口問題研究所
人口動向研究部第一室長）
会場： 早稲田奉仕園
（参加者数 16名）
- 10月21日 市民エネルギーシンポジウム2006
ディスカッション「持続可能なエネルギーで国家戦略を」
講師： 蒲谷昌生氏（ソーラーシステム研究所代表）
藤本潔氏（農林水産省大臣官房環境政策課課長）
保坂展人氏（衆議院議員）
大東断氏（市民エネルギー研究所）
共催： 市民エネルギー研究所
会場： 文京シビックセンター
（参加者数 29名）
- 10月31日 講演会「中国ハンセン病回復者の現状と支援活動」
講師： 原田僚太郎氏（JIA代表）
小牧義美氏（ハンセン病回復者）

(財)大竹財団

会場： 早稲田奉仕園

(参加者数 40名)

11月16日

講演会「水俣から学ぶ～水俣病50周年の今、考えること」

講師： 栗原彬氏 (明治大学教授)

会場： 早稲田奉仕園

(参加者数 29名)

19年 2月 7日

講演会「カンボジア、アフガンから考える復興と平和」

講師： 谷山博史氏 (日本国際ボランティアセンター代表)

金子敦郎氏 (元大阪国際大学学長)

会場： 早稲田奉仕園

(参加者数 29名)

3月17日

講演会「有害化学物質の規制とわたしたちの暮らしを考える～
化学物質管理をめぐる世界の動きと日本の歩むべき道」

講師： 中地重晴氏 (有害化学物質削減ネットワーク理事長)

会場： 早稲田奉仕園

(参加者数 16名)

3. 情報収集・調査取材

18年 4月12日

講演「私たちの暮らしと核の関係を考える」

主催： 子供の食事を考える会

会場： 港区消費者センター

4月23日

20年目の対話 チェルノブイリ医療協力と文化交流、15年の歩み

主催： 信州大学、信濃毎日新聞社、日本チェルノブイリ
連帯基金

会場： 有楽町朝日ホール

6月19日

東京ガス燃料電池施設見学会

会場： 東京ガス・千住テクノステーション

7月 6日

「世界人口デー」特別シンポジウム

～65億人の世界と人口減少社会・日本～

主催： 人口問題協議会、家族計画国際協力財団

会場： 国連大学ウ・タント国際会議場

7月12日

映画「黒い雲」試写会

主催： シネカノン

会場： シネカノン試写室

(財)大竹財団

- 7月28日 ヒューマンライツ・ナウ設立記念講演会
主催： ヒューマンライツ・ナウ
会場： 東京大学駒場キャンパス
- 8月 9日 イスラエルのレバノン侵攻を問う8・9緊急集会
主催： 劣化ウラン兵器禁止・市民ネットワーク
会場： 文京区民センター
- 8月24日 PHJ10周年感謝の集い
主催： ピープルズ・ホープ・ジャパン
会場： 如水会館
- 8月26日 イスラエル・パレスチナ学生会議シンポジウム
主催： 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議
会場： 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 9月24日 水俣・和光大学展
主催： 和光大学
会場： 和光大学
- 9月30日 2006年夏 カンボジア教育現場・体験レポート
主催： カンボジア教育支援基金、カンボジア教育支援基金
・ながの
会場： 河合塾新宿校別館
- 10月4・5日 人口問題基礎講座
主催： 財団法人厚生統計協会
会場： ホテルはあといん乃木坂
- 11月12日 第26回日本フッ素研究会・反フッ素全国集会
主催： 日本フッ素研究会
会場： 社会文化会館
- 11月21日 JANICアカウントビリティ能力強化セミナー
主催： 外務省
会場： 早稲田奉仕園
- 11月30日 環境省一般公開シンポジウム「地球温暖化から未来をのぞく」
主催： 環境省
会場： 有楽町朝日ホール
- 19年 2月9日～16日 2007春パキスタン・スタディツアー
主催： アジア女性資料センター
訪問地： イスラマバード、ラホール

(財)大竹財団

2月22日 家庭ごみ有料化を考えるシンポジウム
主催： 集めて使うリサイクル協会
会場： 八重洲ホール

3月 3日 第2回ホントが知りたい！核燃料サイクルとプルトニウム
主催： 原子力資料情報室
会場： 全水道会館

4. 出版・広報活動

(1) 機関誌（地球号の危機ニュースレター）発行

『地球号の危機ニュースレター』は、昭和52（1977）年6月の第1号発刊より平成19年3月末現在までに322号を発行してきた大竹財団の機関誌。B5判、20ページの体裁で月1回、年12冊発行。

平成18年度においても、環境、エネルギー、人口問題をはじめとした様々な社会問題をテーマに情報発信をおこないました。

年月日	番号	部数
18. 4.20	No.311 (5月号)	400
5.20	No.312 (6月号)	400
6.20	No.313 (7月号)	400
7.20	No.314 (8月号)	400
8.20	No.315 (9月号)	400
9.20	No.316 (10月号)	400
10.20	No.317 (11月号)	400
11.20	No.318 (12月号)	400
12.20	No.319 (1月号)	400
19. 1.20	No.320 (2月号)	400
2.20	No.321 (3月号)	400
3.20	No.322 (4月号)	400
合計	12号	4800

(2) REVEALING JAPAN 発行

『REVEALING JAPAN』は、昭和53（1978）年7月の第1号より平成19年3月末現在までに343号を発行。日本で発行されている英字新聞よりピックアップした記事を切り抜き、日本の諸事情を海外に紹介してきた。平成18年度もB4判12ページの体裁で月1回、

(財)大竹財団

年12冊発行しました。

年月日	番 号	部 数
18. 4.1	No.331	22
5.1	No.332	22
6.1	No.333	22
7.1	No.334	22
8.1	No.335	22
9.1	No.336	22
10.1	No.337	22
11.1	No.338	22
12.1	No.339	22
19. 1.1	No.340	22
2.1	No.341	22
3.1	No.342	22
合 計	12 号	264

(3) ホームページの管理・運営

大竹財団ホームページ (<http://www.ohdake-foundation.org>) を運営。活動案内のほか、講演会・研究会のイベント案内や予約システム、また寄付行為や事業報告書などの公開資料のダウンロード、助成金をはじめとした問い合わせメールシステムの運用をおこなった。

5. 助成金の給付

市民団体にイベント協賛や資金援助をしてきた大竹財団では、社会問題解決に取り組む市民団体または個人の活動に資金援助をおこなってきました。

大竹財団助成金事業として平成18年度では、多数の応募があったなかから選考により決定した17団体に対して総額 425万4620円の助成金を給付しました。

18年 4月10日 給付先： 第6回全国菜の花サミット in 四国実行委員会
目 的： 実行委員会事務経費援助
金 額： ￥200,000

(財)大竹財団

- | | |
|-------|--|
| 6月15日 | 給付先： カンボジア教育支援基金
目的： 奨学金事業援助、フノンペン事務局運営費援助
金額： ￥ 250,000 |
| 6月15日 | 給付先： アップル・シード・プロジェクト
目的： カンボジア教育実態調査費援助
金額： ￥ 250,000 |
| 7月10日 | 給付先： アムルトジャパン
目的： ニジェール現地調査スタッフ派遣事業援助
金額： ￥ 297,720 |
| 7月25日 | 給付先： 日本・イスラエル・パレスチナ学生会議
目的： 第4回日本・イスラエル・パレスチナ合同学生会議開催費用援助
金額： ￥ 200,000 |
| 7月25日 | 給付先： サクラ調査ネットワーク
目的： 「サクラと原発 -調査・報告書(第Ⅲ集)」
発送費用援助
金額： ￥ 100,000 |
| 7月25日 | 給付先： ヒューマンライツ・ナウ準備委員会
目的： 団体設立準備費用援助
金額： ￥ 500,000 |
| 7月25日 | 給付先： NO DU ヒロシマ・プロジェクト
目的： 劣化ウラン兵器禁止を訴える国際大会賛同カンパ
金額： ￥ 200,000 |
| 8月10日 | 給付先： 水俣フォーラム
目的： 「水俣・和光大学展」開催費援助
金額： ￥ 50,000 |
| 9月5日 | 給付先： ジュノーの会
目的： ウクライナ・チェルノブイリ事故被災者に対する
調査・面談活動(第40回)の派遣費用援助
金額： ￥ 500,000 |
| 9月11日 | 給付先： 環境ジャーナリスト村上敦氏の話聞く会
目的： 講演会開催費補助
金額： ￥ 34,200 |

(財)大竹財団

10月13日 給付先： 日本フッ素研究会
目的： 研究会及び全国集会開催賛助金
金額： ￥ 50,000

19年 3月22日 給付先： チェルノブイリ救援・中部
目的： 「ナロジチ再生・菜の花プロジェクト」における
ナタネ栽培に伴う費用援助
金額： ￥ 300,000

3月22日 給付先： いろりばた会議
目的： 平成19年度「いろりばた会議」開催に伴う
費用援助（講師謝礼交通費）
金額： ￥ 350,000

3月22日 給付先： 日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）
目的： イラク小児白血病医療品支援
金額： ￥ 500,000

3月22日 給付先： BAN ROM SAI（バーン ロム サイ）
目的： タイ・HIV感染孤児の医療費援助
金額： ￥ 300,000

3月26日 給付先： グループホーム「ふうせん」
目的： グループホーム施設備品購入費
金額： ￥ 172,700

合計： ￥ 4,254,620-